

事業者の皆様へ

令和2年度 施設長研修の開催について

公益社団法人 全国有料老人ホーム協会

近年、有料老人ホームでは、様々な事業課題が表面化しています。こうした中、施設長の管理能力がますます問われております。

そこで本協会は、過去の研修実績に基づき、昨年度から「施設長研修制度」をリニューアルし、前・後期日程の18科目を履修、レポート提出をもって業界では初めてとなる「有老協・施設長認定証」を交付しております。

施設長の皆様に、確かな福祉観・人間観を持ち、効率的・民主的にホームを管理できるスキルを持っていただくことは、入居者の安心・安全を守る上で最も重要です。

今年度は東京・大阪にて開催しますが、新型コロナウイルス感染症が終息を見ていない状況でもあり、定員250名以上の会場で受講者数を60名に限定、さらにマスク、アルコール、フェイスシールド等をご用意して開催いたします。また、大阪会場の日程に合わせてweb(zoom)での同時開催を行います。

皆様にはぜひ本協会の研修を受講いただき、施設長としての実践力をさらに磨いていただきたく存じます。

実施概要

■日 程

【前期】東京会場 令和2年11月17日(火)・18日(水)／大阪会場 令和2年12月 1日(火)・ 2日(水)
 【後期】東京会場 令和3年 2月 4日(木)・ 5日(金)／大阪会場 令和3年 1月13日(水)・14日(木)
 ※大阪会場での開催に併せてオンライン受講も実施します。

■会 場（前・後期共通）

東京会場 フクラシア品川クリスタル（港南） ホールA（東京都港区港南1-6-41）
 大阪会場 AP大阪淀屋橋 南会議室（大阪府大阪市中央区北浜3-2-25）

■対象者 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の、施設長・法人役員またはこれらに準ずる方

■定 員 各会場とも先着60名（お申し込みが20名に満たない場合は中止します。）

■受講料 1日程当たり、協会会員ホーム 30,000円／非会員ホーム 45,000円 （各税込）
 ※オンライン受講（先着100名まで）の場合
 会員ホーム 25,000円／非会員ホーム 40,000円 （各税込）

■申込方法 本協会ホームページの「【有老協】令和2年度施設長研修」ページから
 ※今回は前期日程分の両会場について、お申し込みを承ります。
https://www.yurokyo.or.jp/news_detail.php?c=18&sc=24&id=2932 より
 お申込みください。



■申込締切 東京・大阪会場とも、2020年9月25日（金）まで

【本件についてのお問い合わせは】
 公益社団法人全国有料老人ホーム協会／古川まで
 東京都中央区日本橋3-5-14 アイ・アンド・イ日本橋ビル7階
 電話03-3272-3781 FAX03-3548-1078

施設長研修【前期日程】カリキュラム ※講師、時間は現時点での予定です。

	時間	内容
東京会場 大阪会場 11/12 / / 17(火) 1(火) 1日目	9:30～ 11:00	第1講「有料老人ホームの法令・制度上の位置づけと事業特性の理解」 【講師】森岡 信人氏(厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長補佐) 〈ねらい〉有料老人ホーム事業の法的根拠やサ高住を含む高齢者向け住まい事業の特性・役割、介護保険制度上の位置づけ、国として期待するホーム像について学ぶ。
	11:10～ 12:40	第2講「有料老人ホーム総論」 【講師】中澤 俊勝(公益社団法人全国有料老人ホーム協会 理事長) 〈ねらい〉有料老人ホームの歴史的背景・事業トレンドの変化、入居者の安心・安全を守るために必要なホーム運営等について、有料老人ホーム設置運営指導指針を踏まえながら学ぶ。
	12:40～ 13:40	昼休憩
	13:40～ 15:10	第3講「入居者の人権保護、尊厳確保とコミュニケーション力向上Ⅰ」 【講師】田島 誠一氏(特定非営利活動法人 東京YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 理事長) 〈ねらい〉管理者、及びホーム職員が確かな福祉観・人間観に基づいて入居者の人権を守り尊厳を確保するために求められるマインドについて学び、さらに具体的事例に基づき入居者とのコミュニケーション力向上について意見出し等を行うことで実践力を高める。
	15:20～ 16:50	第4講「入居者の人権保護、尊厳確保とコミュニケーション力向上Ⅱ」 【講師】田島 誠一氏(特定非営利活動法人 東京YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 理事長)
	17:00～ 18:30	第5講「認知症の症状の理解と対応方法」 【講師】杉山 孝博氏(川崎幸クリニック 院長) 〈ねらい〉認知症の原因疾患や特有の行動を理解するとともに、入居者の安定的な生活に資するための、具体的な技術・コミュニケーション方法を学ぶ。
東京会場 大阪会場 11/12 / / 18(水) 2(水) 2日目	9:30～ 11:00	第6講「業務の標準化と個別化」 【講師】榊原 宏昌氏(天晴れ介護サービス総合教育研究所株式会社 代表取締役) 〈ねらい〉マニュアルの作成等による業務の標準化、また入居者ごとの個別化を体系的に学ぶ。
	11:10～ 12:40	第7講「高齢者の身体特性の理解」 【講師】鶴岡 浩樹氏(日本社会事業大学専門職大学院 福祉マネジメント研究科 教授) 〈ねらい〉高齢者に多い疾病、症状、感染症等を理解するとともに、緊急時を含むホームでの対応方法を学ぶ。
	12:40～ 13:40	昼休憩(昼食をご用意します)
	13:40～ 15:10	第8講「入居者のニーズ把握とサービスの質向上」 【講師】渡辺 敬章氏(社会福祉法人聖隷福祉事業団 高齢者公益事業部 運営管理部 部長) 〈ねらい〉入居者の生活向上のためにニーズを把握する具体的方法や、サービスの質を高めるための組織的な取り組み方法について学ぶ。
	15:20～ 16:50	第9講「有料老人ホームにおける感染対策」 【講師】島崎 豊氏(中部地区中材業務研究会 会長 NPO法人日本・アジア口腔保健支援機構 理事) 〈ねらい〉新型コロナウイルス感染症について、発症予防策や集団防止方法等、感染者発生時の初期対応を中心に学ぶ。

施設長研修【後期日程】カリキュラム ※講師、時間は現時点での予定です。

	時間	内容
大阪会場 1 東京会場 2 / 4 13 (木) 1 日 目	9:30～ 11:00	第10講「入居契約の理解」 【講師】松本 光紀(公益社団法人全国有料老人ホーム協会 事業推進部長) <ねらい>入居契約について、有料老人ホーム設置運営指導指針の要求、入居者保護、不適切条項の排除等、令和元年改正の「協会・標準入居契約書」に基づいて学ぶ。
	11:10～ 12:40	第11講「施設運営リスクの理解」 【講師】加藤 伸一氏(一般財団法人長寿会 理事長) <ねらい>ホーム内事故の予防策や発生時の対応、また財務・運営・経営上のリスクの具体的なマネジメント方法を学ぶ。
	12:40～ 13:40	昼休憩(昼食をご用意します)
	13:40～ 15:10	第12講「職員意識の理解と人材管理Ⅰ」 【講師】丸山 法子氏(一般社団法人リエゾン地域福祉研究所 代表理事) <ねらい>多様な職種・職員で構成する職場環境を適切に管理するために必要な、ES調査やキャリアパス等を含む人材管理について学び、意見出し等で実践力を高める。
	15:20～ 16:50	第13講「職員意識の理解と人材管理Ⅱ」 【講師】丸山 法子氏(一般社団法人リエゾン地域福祉研究所 代表理事)
	17:00～ 18:30	第14講「職員トラブルへの対応」 【講師】吉田 肇氏(株式会社マザアス代表取締役) <ねらい>日常的に発生する各業務部門内のトラブルや職員間のトラブルを理解し、管理者として取り組むべき内容について学ぶ。
	大阪会場 1 東京会場 2 / 5 14 (金) 2 日 目	9:30～ 11:00
11:10～ 12:40		第16講「施設業務と管理者の役割理解」 【講師】森 誘一郎氏(シルバーシティ聖蹟桜ヶ丘 園長) <ねらい>ホーム内の各部門が行う専門的業務を理解し、管理者としての基本的なマネジメント方法について学ぶ。
12:40～ 13:40		昼休憩(昼食をご用意します)
13:40～ 15:10		第17講「入居者虐待・身体拘束廃止への取り組み」 【講師】綿 裕二氏(日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科教授) <ねらい>入居者虐待や身体拘束を防止するために必要な、職員および日常業務上の具体的なマネジメント方法を学ぶ。
15:20～ 16:50		第18講「セルフ・マネジメント」 【講師】井戸 和宏氏(株式会社IDO 代表取締役) <ねらい>管理者が自身で抱えるストレス等にどう向き合い対応していくべきか、メンタルヘルス、ストレスマネジメントなど具体的な方法を学ぶ。

※大阪会場は科目の時間が変更となります。

10.入居契約の理解 16.施設業務と管理者の役割理解 12.職員意識の理解と人材管理Ⅰ
 13.職員意識の理解と人材管理Ⅱ 17.入居者虐待・身体拘束廃止への取り組み 11.施設運営リスクの理解
 15.苦情解決への取り組み 14.職員トラブルへの対応 18.セルフ・マネジメント

「有老協・施設長認定証」交付について

1年度内に前期・後期日程を実施。全18科目・27時間の講義を受講いただき、レポートをご提出いただくことで、「有老協・施設長認定証」を交付いたします。